

第6回

上野地区まちづくりビジョン策定委員会

日時：令和2年1月27日（月）

18：30～19：56

場所：台東区役所

10階 1002会議室

【公開用】

午後6時30分 開会

1 開 会

2 座長挨拶

3 議 事

(1) 第5回ビジョン策定委員会の振り返りについて

<事務局より資料1、参考資料1について説明>

○座長 要約をして御説明いただきましたが、特に何か御意見ございますか。よろしいでしょうか。

発言の趣旨が大きく間違っていなければ、御了解いただきたいと思います。

(2) 各所からの主な意見と対応について

○座長 特に御意見なければ、続いて、議事の2番目の話題にいきましょう。

「各所からの主な意見とその対応について」、説明をよろしくお願いします。

<事務局より資料2-1、資料2-2について説明>

○座長 パブリックコメントの内容並びに関係機関からの御意見について御紹介いただきました。何か御質問があればお受けしたいと思います。

対応・変更点については後ほど全体を御紹介いただきますので、手続として何か御質問があればいただきたいと思います。——よろしいでしょうか。

(3) ビジョン（最終案）について

○座長 それでは、こうした御意見を受けて、最終的にどういう変更をしようとしている

か、御提案をいただきたいと思います。

<事務局より資料3について説明>

○座長 ただいま各所からの御意見をを受けて主に変更したところについて御紹介いただきましたが、全体を通して、まちづくりビジョン全体はどういう構成であったかということをもう一度だけ振り返りますと、お手元の最終案の資料3の3ページに当該地区のビジョンの範囲が何となく黄色く塗られているところであるということと、概ね20年後を想定したビジョンをつくり出すということが書かれております。その方向性を示すものでありますと。

あとしばらくの間は、歴史と現状、さまざまな可能性と人々がいらっしゃるということが書いてあって、上野の将来像については、9ページ、10ページに「杜」とか「まち」という言葉を使いながら大きな考え方が示されていて、まとまったものは11ページ、12ページ、「世界の粋（すい）・東京の粋（いき）」ということで、「杜の文化とまちの賑わいが共演する舞台“上野”」ということを大きな将来像として共有化しましょうと。それぞれに「杜」、「まち」、あるいはその2つが交わる場所について、同じ方向に向かった議論をこれからもやっていきたいと思いますということが書かれているわけでございます。

その後は、個別に13ページからは杜の取組み、そして15ページがまちの取組み、そして17ページからが杜とまちを重ねたところの取組みが書いてあって、特にその重ねたところ、特に段差があってというあたりについては、19ページ、20ページに「みんなの広小路」という言葉が使われていますが、杜とまちを重ねてつなげるエリアを大切にしていこうということが書かれているわけでありまして。

全体をもう一度振り返ると、21ページ、22ページのような構成で全体が取り組まれますと。それを具体化すると、23ページのようなスケジュール感、短期、中期、長期ということで、大きな節目を頭に描きながら順番に進めていったらどうかということが書かれています。

節目は、下の表のほうにちょっと書いてありますけれども、2020年代の半ばごろ、あるいは2030年代の初めのころ、2040年代の後半には、それぞれ周年のような記念すべき年がやってくるので、そこをターゲットにしながらということで、それぞれの分野でどんなことをこれからやるのかということが表になっているということでございます。

最後に、エリアマネジメントといったものを地域の価値を上げるために頑張っていこうということと、推進体制として（仮称）上野地区まちづくり推進会議というもので、これから着実にそれを推進していきたいということが書かれている。全体の構成については特に大きな変更はないということでございます。

表現等々のところで御意見がございましたので、そこについて部分的な修正を施したというのが今の説明であります。何か変更に関して御意見、あるいは振り返って全体に対して御意見があっても結構だと思いますが、御質問、御意見があれば承りたいと思います。いかがでしょうか。

○委員 1点、非常に細かいことなのですけれどもよろしいですか。

聞き逃しているかもしれないのですけれども、15ページで、まち1-④のところで、今までは例で「地場産業・ものづくり産業」という言葉だったように記憶していて、また確認したらそうだったのですが、これは「地域産業」という言葉に変わっているのは何か意図がございましょうか。

○事務局 ありがとうございます。

確かに「地場産業」ということで表記していたかと思います。当区の産業振興計画や、都市計画マスタープランにおいて、こういった表現で使っておりますので、そういった整合を図らせていただいたというところでございます。

○委員 了解しました。

○座長 今のは15ページのまち1-④ですね。「まちの情報発信機能の強化」というところの例の中の「地域産業」という言葉遣いに関してですね。

ほかにはいかがでしょうか。

私のほうから1つだけ。写真を随分入れ替えたと思うのですけれども、いわゆる著作権、著作権の問題はないという理解でよろしいですか。

○事務局 はい。大丈夫です。

○座長 誰がお撮りになったかというのも書いてあるのがありますがけれども、それも了解をとられている。

○事務局 はい。了解をとっております。

○座長 ほかには何か御質問ございますか。

よろしいでしょうか。これまで議論してきたことを入手しながら、少し文言の修正が行われているということかと思っておりますので、これでよろしければ、これをもちましてまちづ

くりビジョン本委員会の成果という形にさせていただこうと思います。よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

(4) 今後の上野地区まちづくり推進について

○座長 続いて、これからの話になりますが、「今後の上野地区まちづくり推進について」、説明をお願いします。

<事務局より資料4について説明>

○座長 本編の23ページに目標スケジュールと今後の推進体制が書いてございますが、今説明があったとおり、来年度の7月、ことしの7月ごろから、再度こういう新しい体制をつくって実現の一步を歩んでいきたいと。

具体的には、23ページに短期の取組みの例が多少書いてありますが、今のところはこんなことが議論されてきたということですが、これからの何カ月間に動きもいろいろあるかもわかりませんから、改めて短期的な取組みとして、どういうものが本当に必要なのか、御議論いただきながらやっていこうということかと思えます。

今後の検討の進め方に関して御意見があればいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

特に御発言ございませんか。よろしいですか。

とりあえず来年度、ことしの7月ごろに新しい組織をつくって推進体制をつくるということですが、具体的にはどれぐらいの期間、その組織を動かすのですか。イメージは。

○事務局 当面、来年度のことでよろしいでしょうか。

来年度につきましては、推進会議というものが親会に当たるのですが、1回から2回と考えてございます。また、基盤整備推進部会というものを2回、まちづくり推進部会というものを2回。まちづくり推進部会については、エリアマネジメントについて検討することとしていますので、部会に上げる前段としてワークショップなども開いて、今のところ6回ほど計画しております。そういったところでもんだものを部会に上げていく。そういったものを親会に上げていくといったことを今イメージしてございます。

また、水面下では、各事業者の皆様との調査であったり、その上で検討していくと。ある程度、部会などにあげられるようなものになったらあげていくといったイメージをしてございます。

○座長 当面、このまちづくり推進会議、仮称ですけれども、これは1年ということですか。

○事務局 いえ。今、私が申し上げているのは来年度なのですけれども、これはずっと今後続いていくと。まずは当面、短期の10年かと考えてございます。

○座長 まず短期の10年を目標にした具体的な計画の調整をこういう場を使ってやらせていただいて、一旦は短期の計画づくりを早期にまとめたいという感じですか。

○事務局 はい、おっしゃるとおりです。

○座長 お気づきだとは思いますが、ビジョンとしての大きな方向性は書いたものの、前回は御議論ありましたけれども、より具体的に、何をどうするのだということをもう少ししっかりと詰めていかないと絵に描いた餅にもならないという話もありますので、そういう意味では、これまで進めてきた基盤整備とか、まちづくりといった体制を維持しながら、この方針に沿って何を具体的にできるのか、特に短期的な取組みについての少し生々しい議論をやらせていただくというのが来年度のとりあえずのスタート。動いていった結果としてどこに落ちつくか、また、議論の流れによっては体制も変わるかもわかりませんが、とりあえずはこの形でスタートしたいということでございますので、何か今のうちに御意見があればいただいておりますが、いかがでしょうか。

やってみないとわかりませんか。

○委員 1点ですが、今回、短期ということで、10年はかなり長期といえは長期なのですよね。ハード系は時間がかかるのは当然のこととしても、ソフト系は割と目に見える成果も出やすいような気がするので、推進会議というと、かなり大きなこのような会議で、さらに下位に部会があると、会議をしているだけで、会議でオーソライズされるのを待っている間に時間がかかってしまうという側面もあるので、地域組織レベルでの小さな動きも、割と自由度を持って動きやすくするような、これは仕組みなのか枠組みなのかわかりませんが、少なくともそういう動きがあったときに部会とか推進会議まで待ってという話ではなくて、どんどん区役所を含めて官民連携しながら拾い上げてさらに加速させてくれるような、少なくとも雰囲気づくりだけは是非していただきたいと思います。

○座長 来年度の運営の仕方について御配慮いただきたいということだと思います。

短期というのは、この23ページの節目のところを見ると、23年の関東大震災100年とか、2025年の寛永寺開基400年とか、2027年の銀座線開通100年とか、どれをターゲットにするか決まっているわけではないので、そういう意味ではある種幾つかの節目があるものを連続的に加速化させていくというのは、おっしゃるとおり非常に大事なことかと思えますね。やはり動いていないとまちが変わっていつている感じが出ないから、全部が決まらなければ先に行かないというのもしかたなものかなという気はしますから、なるべく柔軟にやれるところからやるという姿勢は持っていきたいですね。ありがとうございました。

ほかには何か御注文ございますか。

○副座長 似たような話なのですが、基盤部会では大体こういうことをしてきたらいいねと、基盤部会に関連する水面下も含めて、こういうことができたらいいいねという議論をしていて、そのしていたものがこのビジョンの中身の一部だと思うのですが、非常にこのビジョンは多岐にわたっているのもともと何かをしようとしていた方が、これに乗かってちょっと軌道修正してやるというのも十分中に取り込んでいったほうがいいと思うのです。そういう意味で、レッテルを張るのではないけれども、そういう仲間を増やすみたいな取組みができたらいいいと、きょうのお話を聞いていて思いました。

○座長 この会議の第1回のテーマみたいな感じもしますけれども。

よろしいですか。何かお答になりますか。とりあえずお受けとめいただけますか。

○事務局 はい。

○座長 ほかに特に御注文ございませんか。よろしいですか。

○委員 今の話の延長でいくと、推進会議が7月とおっしゃいましたか。ということは半年後、というか半年間空くということですよ。何かもうちょっと前倒しして、ビジョンの公表とともに、すぐ動き出しているのだという雰囲気があったほうがいいのかと思いました。

○事務局 おっしゃるとおり、7月ということで半年ぐらい時間が経過してしまうと。何もやらないということでは、何か言い訳がましい話になってしまうのですけれども、区としましては、まちづくり協議会の方とかと日々おつき合いとか、一緒に議論しているといったところもございますので、そこでの議論の経過であるとか、このビジョンにどうそれがかわっていくかということもあろうかと思えます。

また、ちょうど我々も、これから2月、3月にこういった来年度の、今私が申し上げて

いるのは来年度の予算として外に出していくといったこともありますので、我々も今申し上げたようなことの方角性を、来年度の進め方なり、そういったことを固めつつ、また御相談申し上げながらやっていきたいと思っておりますので、まちづくりのこれまでやってきたスピードを緩めるということではなくて、早く進めろといったパブリックコメントの御意見もごございますので、そういった意見を捉えてスピードを緩めずにやっていきたいと考えてございます。

○座長 御担当の課ではないのかもわかりませんが、要するに7月ということはオリンピックではないですか。オリンピックに向けては、何か区としては動きをされていらっしゃるのですか。上野のアピールをすとか、ここで書いてあるような方向性に上野は行くのだということの世界に訴えるという先ほどの仕組みですね。

○事務局 オリパラにつきましては、この上野ビジョンについては、先ほども申し上げたのですけれども、やはりこのビジョンを広く知っていただきたい、その絶好のタイミング、いいタイミングはどこだろうといったことを考えたときに、やはりオリパラと重なってしまうと埋没する可能性もありますので、ちょっと時期をずらして、これを発信するような場としてシンポジウムを企画していきたいと。それが秋ごろかといったイメージをしてございます。

オリパラの話がちょっと今出たのですけれども、直接の担当ではないのですが、台東区としては、7月21日でしたか、聖火ランナーも走るとか、そういったところで台東区の魅力を発信していくと。リバーサイドのあたりから言問通りを通過して、かっぱ橋を通過して、浅草通りを通過して、上野の山の国立西洋美術館にゴールするような台東区を発信する機会もごございますので、オリパラに向けてはそういった取組みがごございます。

○座長 よろしいでしょうか。

これからの話なので、また後ほど皆様からも、来年度に向けての期待とか御要望を別途いただこうと思っておりますが、とりあえずこの仕組みで進めていくということで御理解をいただいたということによろしいでしょうか。ありがとうございます。

すき間をあけることなく、多くの方にこのビジョンの方向性を共有していただけるような取組みは重ねていただくし、オリンピックに埋没してしまうというのがありますが、オリパラは大変強いメッセージが発信できる場なので、いかにこの台東区、上野・浅草の魅力を世界に発信するかというのは、恐らく区全体の話題ですよね。それは別途ぜひお進めいただきたいと思っております。

(5) その他

○座長 それでは、その他の項目が残されていますので、何かございますか。

○事務局 お手元の参考資料2「上野地区まちづくりビジョン別冊資料編」をごらんください。

<事務局より参考資料2について説明>

○座長 これは印刷されるという意味ですか。

○事務局 はい。こちらの1番から7番を印刷し紙にする、データ編は印刷せずに、このデータをホームページに掲載するといったイメージでございます。

○座長 その資料編のほうは、どのように配られるのですか。

○事務局 資料編については、本編と一緒に皆様のほうにお届けしよう。

○座長 皆様というのは、ここの関係者はもちろんですけども、一般の方に対してはどのように。ホームページか何かに出してしまうのですか。

○事務局 ホームページからも出せます。

○座長 ここに入ってくるデータそのものは、前にこの委員会で出ているものだけという理解でよろしいですか。

○事務局 おっしゃるとおりです。

○座長 関係する方にあらかじめ見ておいていただかなくても大丈夫ですか。

○事務局 これはたたき台ですので、こちらで確認した上で進めたいと思います。

○座長 基本的にはこれまでの資料の整理にすぎませんけれども、先生方がごらんになっていて、ちょっと解釈が違ふとかというのがそのまま出してしまうと、名前が一応連なっている以上、責任も出てきますから。

○事務局 確認をとった上で進めたいと思います。

○座長 そうですね。あるいは、この委員会とは別の上野の基礎資料というのも方法としてはありますけれども、こうして体制とか検討経緯まで書きたいということであれば、恐らくこの委員会の成果の一つという形でお出しになったほうがいいと思うので、そういう意味では、少なくとも関係者にはちょっと目を通してもらって、最終チェックをしていた

だいてからお渡しいただくほうがいいと思いますね。

○事務局 はい。かしこまりました。

○座長 ということを前提にして、この資料編に関して何か御要望があれば承りますが、いかがでしょう。

これだけではわからないから、とりあえず来てからにしますか。いずれにしても本編だけではないと。本編はどうするのですか。本編は印刷をかなりされるのですか。これはどのように配布されるのでしょうか。

○事務局 部数としては2,000部程度印刷する予定ですので、当然、今回御参画いただいている方、また区民の方、関係団体の方にお配りしていきたいと考えてございます。

○座長 資料編はそんなに刷らないですよ。2,000部もね。

○事務局 そうですね。

○座長 ですから、本編のほうは、もしまちづくりの関係者で会合を持たれるときなどは御利用いただけるでしょうね。御要請いただければ必要部数をお渡しいただけると思いますので、また御活用いただきたいと思います。

その他は何かありますか。それだけでよろしいですか。

○副座長 よろしければ、ちょっと毛色の違う話題を。

会議の議題というほどでもないですけれども、非常に関連のするお知らせがございますので、今配っていただきます。

(資料配付)

<副座長より配布資料について説明>

○座長 若い方のアイデアがいろいろと詰め込まれていると思います。お時間があれば、ぜひ御参加いただきたいと思います。

それぐらいでよろしいですか。

きょうは6時半から1時間弱でここまで来ましたが、この会議としては一応きょうでまとめになりますので、大変恐縮ですが、最後に先生方あるいは関係者の方から、来年度以降に向けて、叱咤激励も含めてお考えになっていることがあれば、これを頑張れよということでお声がけいただけるといいと思うのですけれども。

どうでしょうか。この順番で行きますか。副座長から。

○副座長 先ほど申し上げたラベル張りみたいなことが私は一番興味があって、ある意味、人の力もかりて活動を大きくしていくという意味ですけれども、例えば基盤関係でも既に予定されている事業なり整備なりがあって、それをビジョンに合うように少し軌道修正していただけたら、これはビジョンとして動いたものの一つだと。こういう感じで、こういうハードに限らず、ソフトも含めて活動を広げていって、何か上野が動き出したぞというようになるといいなと思っております。何しろ、すぐに何か動いたと見えるのが物すごく大事だと思っておりますので、次年度はそういった議論をさせてもらえばと思っております。

○座長 何かありますよね。レットルをぼんと張って、皆がやっているものは関係者だと……。粋（すい・いき）になってもいいかもわからないですね。

では、委員、お願いします。

○委員 きょうお話を聞いていて一番気になったのが、やはりスピード感があるのだろうかというところで、恐らくこちらの方、皆さんそう思われているようなコメントが多かったのですけれども、今までずっとやってきましたけれども、これでスタートに立ったという感じなのだろうと思うので、今後の進め方が本当に重要だと思うので、できるだけ本当に、何人も恐らく同じようなことを言われているのですが、何かここで一息ついていいのだろうかという気はちょっとします。

とにかく今後もう、10年という言葉も飛び出して、そんなに長期を見ているのかというのはあるのですけれども、今いろいろなことがもう動いていると思いますので、すぐに結構動かなければならないのではないのかなというのが私も正直思うところですので、私も微力ながら何とかお力になればと思っておりますので、よろしくお願いします。

○座長 ありがとうございます。

では、委員。

○委員 同じ内容なのですけれども、できる限り早期に、小さくていいので、ちゃんと目に見える成果がほしいなと思っておりますので、よろしくお願いします。

○座長 では、委員、お願いします。

○委員 皆さんおっしゃることは全く同じだと思うので、特につけ加える間でもないので、本当にこれが終わったということは何もないと思うので、全く間髪入れずにやっていきたいという部分と、それから何度もお話に出ていますけれども、実際に実行していくのは、まちの中でもいろいろな動きがありますので、そういったところをどうしっかりと連携をとっていくのかという、実効のほうはそちらの意味が非常に大きいと、少なくとも

ソフト面に関してはそう思いますし、もう一つ、区のほうでむしろやるべきこと、やっていただきたいことというのは、多分周知の部分だと思うのです。シンポジウムというお話が出ていましたが、これに関しても、オリパラという言葉も出たりはしていましたが、どういう時期に、どういう媒体で、どういうところに告知、周知するものなのかという、その宛先と費用対効果ということをしかりと戦略を練りながら周知ということ、対外的なものとの区内への浸透は大分やり方が違ってくると思うので、その辺のことをしかり戦略的にやっていただきたいなと思います。

以上です。

○座長 恐縮ですが、委員の御意見をいただければ。

○委員 皆さん、お疲れさまでございました。

台東区から言われて、足かけ4年になりまして、この席で拙い素案のプレゼンをしたのが1年半前と思うと、皆さんの御努力でここまでよくまとめていただいたなということでございます。

ただ一方で、僕の中では、毎月、地元まちづくり協議会で活動しておりまして、そろそろエリアマネジメント組織に向けての動きということで、非常に責任と、一方でとても憂鬱な思いになるのですね。これだけいいものをつくっていただいたので、まち側でぜひこれを動くようにしていかなければいけないということで、近々、ちょっと話がずれるかもしれませんが、台東区の中に青年4団体というのがありまして、JCと商工会議所台東支部青年部会と上野・浅草の法人会の青年部会で合計360名ぐらいいらっしゃるのですけれども、何年ぶりかでその青年4団体の代表と区長が懇談するというところで、今までは各ばらばらに動いていたらしいのですけれども、4団体で共通のテーマはないのかというところを模索して、何だか知らないけれども僕に白羽の矢が立って、委員はまちづくりやっているのでしょうと、それは何をやっているのというところで、その4団体で共通のテーマとしてまちづくりを取り上げるに際して、いわゆる基調講演的なものを僕に話してくださいという依頼が来まして2月中旬に話すのですけれども、そこには30代、40代の台東区、浅草・上野・浅草橋もいますし、そういう意味ではいろいろな地域の次代を担うリーダーがそこに集まっているというところで、そういう方にプレゼンができるというか、この報告ができるということもすごく光栄なことですし、僕自身もこの4年間の一つの総括としてまとめなければいけないかなと思って、今プレッシャーとともに楽しみにしているところでございます。

また、地元まちづくり協議会も、新しいそういう方に関心を持っていただいて、どんどん若返っていますし、新しい人がどんどん来ていますので、発展的にリニューアルしていつて次へつなげられるところに行くべきだなと思っておりまして、私自身もプレッシャーとともにやりがいを感じているところですので、ぜひ台東区を中心にその活動を支援していただいて、ここにいらっしゃる余り口を聞いたこともない基盤整備の方々にも御興味を持っていただいて、素案で最初に言いましたけれども、上野も大きな節目がありましたけれども、これを機会にあれが始まったのだと言われるような形で過ごしていきたいなと思っています。皆さん、本当に今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○座長 では、委員、お願いします。

○委員 私も地元で10年ぐらいやっていて、実はこの前の都市計画マスタープランでも委員をやって、今回やって、かれこれ結構長くやっていると、やはり具体性みたいなものがなくて、ちょっと腹落ちしないみたいな部分がある一方で、やはり分野がいろいろとある。ここで分野別というので7項目あるぐらい。一つ一つも結構重くて、どういうことを優先的にやっていくかということをしないと、やはり話に深みが出てこないのかなと私は感じていて、来年度から具体的に推進していくというときに、毎月違うトピックをやっているようだと、何か1年たってもそんなに深みが出てこないのかなという感じもして、まちづくりをやっていると、例えば行政機関さんというのが、我々が何か言っても、「受けとめます」という感じで、なかなか行政さんの率直な思いというか、何でできないのだとか、そういうことがまちづくりの側から見ると聞こえてこないというので、もうちょっと意見交換みたいなことができる機会が、まちづくり部会、基盤部会という区切りで、まず行政と民間を分けて、それで議論を進めてというのだと、民間だけでできることというのは、まちづくりをやっていると非常に少ない部分があって、むしろ民間がやらなければいけない部分もあるのだけれども、どう連動していくかということの仕組みを少し考えていったら、来年度はもう少しいいのかなと思いました。

○座長 恐縮ですが、鉄道事業者の皆さんも、ちょっとずつ決意表明をしていただければと。

○委員 今回のビジョンづくりを通して、やはり駅への期待というのが地域の皆さんを含めて非常に大きいということをひしひしと感じていますので、今後、具体的な取組みを検討していくという中で、しっかりとやっていきたいと思えます。

このビジョンが出るタイミングに、先ほどから何か動きというか、アピールするものはないのかというお話の中で、たまたまというか、このビジョンを受けてではないのですけれども、上野の公園口というのがちょうど、はっきりと言っていないのですけれども、一応3月に移るということで、前のロータリーの道路もロータリー化されるというところで一つ大きな動きもありますので、ちょうどビジョンができたきっかけにそういうところをトリガーにさせていただきながらアピールしていただければなと思います。よろしくお願いいたします。

○座長 ありがとうございます。

委員もお願いします。

○委員 いろいろ期待のお言葉とかありましたけれども、なかなか鉄道会社としても、一人を変えていくといくのは難しいものでありまして、そういう面で近隣の方々とか行政の方々と話し合いながらビジョン等をやっていければと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

○座長 では、委員もお願いします。

○委員 駅に関する様々な課題については、まちづくりと歩調を合わせて、よりお客様に使いやすいように、地域の方に使いやすいような駅になるように取り組んでいければいいかなと思っています。これからもいろいろ協調して進めさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○座長 ありがとうございます。

こちらはオブザーバーの皆さんなのですけれども、ぜひ一言言っておきたいという方いらっしゃったら、手を挙げてぜひ御発言をいただきたいのですが。せっかくお越しですから。

○オブザーバー 非常によいビジョンがまとまったかなと思っていまして、といたしますのは、私たちの部局も、今まさにキャッチフレーズとして、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」という言葉を使って、いかにまちの中心部をよくしていくかという議論をずっとしてきました。

その中でポイントとなるのはこれではないかなと思っていますのは、今まで同じようなことを言ってきたのですけれども、どちらかという、ハード整備でよいものをつくるで終わっていたのですが、多分それではだめで、民間側のまちづくりと活動、ハード面もちろんそうですし、ソフト面も両方の、民間の取組みといかに行政のハード面の取組みが

呼応した形でよくなっていくか。これこそが今までの概念とはちょっと違う、しっかりと取り組まなければいけないところかなと思っています。

そういう意味では、このビジョンはまさに官の方と民の方と連携しながらつくりましたし、先ほど委員もおっしゃったように、小さな取組みでもいいから早くやるみたいなことも、このビジョンに沿っていけば、まさに応援すべきだと思いますし、副座長がおっしゃったように、書かれていなくても、同じ方向性を向いているのであれば、是非一緒に連携してやりましょうということだと思いますので、このビジョンが錦の御旗のような形になって、それで小さな取組み、お金もかけずにどんどん取り組んで、民間も活発にこの動きに合わせて進んでいく。こんなまちになると上野の中心部は非常におもしろいまちになるなと思いますので期待しております。よろしく願いいたします。

○座長 ぜひ御支援をよろしく願いしたいと。

オブザーバーはよろしいですか。

○オブザーバー 私は最後の3回ぐらいだけ出させていただいたのですけれども、大変勉強になりました。ありがとうございます。

公園の立場というのでいくと公園の中で完結しがちなのですけれども、こういう議論を聞かせていただくと、やはりまちの中の、上野公園がどうしても目立つので、上野公園の話がすれば、相当に珍しい公園だと思うのですけれども、持っている資源は何だということがいけばそういうことだと思うのですけれども、そうとはいえ、やはりまちの中の1パーツなのだなと思いましたので、台東区あるいは東京都なのかもしれないのですけれども、全体のためになるような公園になっていただければなど、そんなことを勝手ながら期待として持ちました。

以上でございます。

○座長 ではオブザーバー、ぜひよろしく。

○オブザーバー 今回とりあえずビジョンができましたということで、この先どうするのだという話、皆さん御関心の向きが高いかと思いますが、ソフト面の部分は比較的スピーディーに、あれこれと目に見せることが可能なのかなと感じる一方で、ハード整備はどうしてもお金と時間とかがかかってくる部分が多分にあると思います。公共のいわゆる税金を使った予算だけで賄えるのかというと、どこまでやるかにもよるのですが、結構厳しいものもあるのかなと思います。

一方で、東京都内、都心部というのは、非常に民間のまちづくりとかも活発に行われて

いて、どうやって民間の資金もうまく取り入れながら、実際にまちを変えていくのかというのを考えていかなければいけないフェーズに入っていくのかなと感じました。

国道事務所と銘打って仕事はしていますが、渋谷であれ、日本橋であれ、品川であれ、やっていることは周りの再開発とセットになって、いろいろとまちに対して働きかけていくようなことをやっておりますので、ぜひそういったさまざまな各種都心で行われているような事業なども参考にしながら、いろいろなものがしっかりと、ビジョンが形になっていくようにしていけたらいいのかなと感じました。

以上です。

○座長 ありがとうございます。

東京都さんもいろいろな部隊がお越しなのですけれども、どうでしょうか。

○オブザーバー すばらしいビジョンができ上がったということで、この中で東京都でもありますけれども、自動車依存から歩行者中心と書かれてございまして、東京都のほうでも「未来の東京」戦略ビジョンの中でも車から人へととなっております。ただ、歩行者中心というのは書くのはあれですけれども、なかなか物流とか駐車の問題とか、いろいろその辺を整理しながら進めなければいけないのですが、この辺のところが出てきたところで東京都もそういうまちを、国のウオーカブルというものに合わせながらやっていきますので、この辺を一緒にやっていければ、支援できるものがあればやっていきたいと思っています。

以上でございます。

○座長 では、続いて、オブザーバーはいかがでしょう。

○オブザーバー 上野のまちのことということで、上野地区には今言ったように、当然道路でも国道があったり、都道があったり、区道があったりとか、あと公園管理者がいたりとか、当然鉄道管理者もいて、その中の一つの上野の地域としてどうまちづくりしているのかという取組みの方針ということなのですけれども、今後いろいろな人が管理している中でどのように整備していくのかという具体的なメニューということなので、その辺はちょっと関心を持ちながら協力していきたいなと思っているところです。

以上です。

○座長 では、オブザーバー、お願いします。

○オブザーバー 今回、このビジョンが非常にうまく——ぼんやりではありますけれども——まとまりまして、非常にありがたいなというか、これに向けて、これをベースに何か進めていければなと感じておりますが、この上野公園を管理させていただいている私ども

としまして、この上野公園の長い歴史の中で、時代とともに上野公園というのは恐らく変わってきている。そういったものも見ています。上野に赴任して、この数年間、上野の中で上野を見て、上野を考えると、このタイミングでビジョンに参加できたことは非常にうれしく思っております。

また、上野公園の全体の期待というものが、ハード、ソフト、日々私ども現場にいますと、地元の声、また都民の声、区民の声というものを感じております。

先ほど委員からお話いただきました上野公園口につきましては、今、夜間工事をやっております。関連する皆様の協力と区と手を取り合って、1つの道を2つに分断して、地元の理解を得ながら今進めているというものなので、3月中下旬になるかと思いますが、またいろいろ上野が変わっていく中の一つの始まりとして温かく見ていただければと思います。

長くなって済みません。以上です。

○座長 上野の基盤に関しては、国道さん、都の公園さん、都道、あるいはJRさん、メトロさんと、きょうここにお越しの皆さんのお力添えをいただかなければ先へ進みませんので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

最後にオブザーバーにまとめていただいて、これからどうしたらいいかというのを願ひします。

○オブザーバー 当組織は、各館が集まった上野公園の中の研究施設の集まりでありまして、そこの代表が集まって、いろいろと意見を出して、イベント、それからハードな面についての利便性を考えた会議をしてまいりました。その中で、アートクロスとか、公園口の整備とかを皆さんの意見を吸い上げてきたのですけれども、そういったものの中で一番大きいものは、やはりまちと杜をつなぐということが大きかったかなと思ひます。それを今後どういった形で進めていくかということを検討していきたいなと思ひているのですけれども、ちょうど、私、ことしで定年を迎えまして、これからというところでバトンタッチをするというようなことになるのかなと思ひております。これからも何らかのかかわりを持っていきたいと思ひますので、どうぞよろしく願ひいたします。

ありがとうございました。

○座長 ぜひ今後ともよろしく願ひをしたいと思います。

きょうはちょうど1月の末ということもあって、地元の方の御欠席が多かったのですが、何か地元の方からの御欠席のメッセージがあればいただきたいと思ひますが。

○事務局 何人かからコメントをお預かりしておりますので、御紹介させていただきたいと思えます。

まず、最初の委員におかれましては、多くの方の意見を反映して、よくまとめてくれたのではないかと。このビジョンの計画が頓挫することがないように継続して進めてほしいといったこと。

また、パンダ広場のこともちょっと触れられておりまして、完成して、最近、周辺の人の流れが変わったと。また近年、魅力あるイベントもあるので、区と連携して進めたいという前向きな御意見でございました。

次の委員でございますが、上野駅は杜とまちをつなげる役割があって、さらに魅力のある駅になってほしいといったことです。

また、竹町地区というのは御徒町の南のほうですので、御徒町と秋葉原の間にはにぎわいをつなぐ拠点が不足していると。にぎわいの連続性が生まれるといいといった御意見でございました。

次の委員です。地域に関するまちづくりの情報は、しっかり情報を提供してほしいということ。また、これから始まるまちづくりについては、町会長とか、その地元の人がかかわる場をつくってほしい、場を設けてもらいたいといった御意見でございました。

次の委員ですが、上野での初めてのビジョンをよくまとめてくれた。上野の歴史を大切に、まちづくりを進めてほしいのだと。

また、町会については加入率というものが低下してしまって、周りの人とのつながりというのが希薄になってきてしまっていると。こういったビジョンについても、住民が自分のことだけではなくて、地域のこと、まちのことを考えるように誘導して行ってほしいということです。

最後の委員ですが、ビジョンを絵に描いた餅としないように、しっかり詳細を検討してほしい。例えばということで、特定の地区において1階部分は商業施設を設けるといった誘導をすとか、これから個別のルールをつくっていく必要があるのではないかとといった御意見でございました。

きょう欠席の委員の方は以上でございます。

○座長 どうもありがとうございました。

皆様からいろいろ御期待や御懸念をいただきまして、私も最後に一言だけ感想を申し上げたいと思えますが、先ほど来、出ていますとおり、2020年オリンピック・パラリン

ピックが開かれまして、多くの世界の目が東京、日本に注がれてまいります。

それを契機にというか、そのことを視野に入れつつ、既に東京駅周辺では新しく広場も完成して、多くの方が仲通り、行幸通りを含めて集まっていっぱいいますし、日本橋も変わってきましたし、渋谷も大きく変わりました。新宿も新しいビジョンを打ち上げております。池袋も動こうとしているという中で、我々の上野地区については、ちょっと後塵を拝していると言わざるを得ないところはあるのですが、ここにこうしたビジョンがまとまって、先ほどもお話がありましたけれども、今やっている工事もそのビジョンの方向に沿ってやっているのだから、これもそのビジョンの実現に向かう第一歩であると皆で言おうと。あれが終わったときに次はこれをやるのだということの一つでもいいから何か言えるようにしておこうという積み重ねが続けば、上野は変わっていくのではないかと。2025年に寛永寺さん400年、2020年代の中間だとしても、実はあと5年しかない。5年しかないということは、もう目の前だということです。

ですから、一つ一つできることを皆が積み重ねていながら、この方向に向かって皆が動いていくということ、世界にこの機会に発信をしなければいけない。上野は動いているということを見せなければいけない。動いていることが常に新しいものを生み出しているという魅力を世界に伝えることになるし、そういうことを恐らく多くの方は感じていただいて、また上野にも足を運んでいただける。日本のよさをこの上野で感じていただけるのではないかと、このように思っています。

せっかく多くの方に集まっていただいて作り上げたビジョンでございますので、大切にして次年度以降も少しずつ前へ行きたいとこう思っていますので、ぜひ引き続き御協力をよろしくお願い申し上げます。

関係者の方は除いて、オブザーバーと委員の方の御意見は承りましたが、最後、決意表明されるのでしたら、台東区さんいかがですか。

○事務局 ありがとうございます。

さまざまな皆様からの叱咤激励であったと思います。我々行政が思い描いているスピード感というのが、ちょっと生ぬるいのかなといったことも正直感じてございます。

一方で、皆様から御意見を伺っていると、気づかされた部分もたくさんございまして、当課では上野地域を担当させていただいていて、これ以外にも東上野のまちづくりだったり、御徒町のまちづくりだったり、公園口は隣のセクションでやっているのですけれども、そういったところの見せ方だったり、そういった工夫も常にアンテナも張りつつ、こうい

ったビジョンをどう見せていくか、動いている感というものを見せていかなければいけないのだなといった課題認識も新たにしたところでございます。

いずれにしても、今後の体制を早く積み上げ、きょういただいた叱咤激励のその言葉をちゃんと胸にとめて、2040年代のまちづくりの実現に向けて頑張っていきたいと思っておりますので、引き続き御指導のほど、また御意見を賜りますよう、よろしく願いいたします。

○座長 ありがとうございます。

以上をもちまして、本会としては一旦完結、大団円ということにさせていただきたいと思っております。

事務局に進行をお返ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

座長、ありがとうございます。

事務局より今後の予定を改めて御報告させていただきます。

本日、御確認いただきましたビジョン（最終案）につきましては、2月開催の台東区産業建設委員会及び3月下旬に開催予定の都市計画審議会に最終報告の上、その内容について決めてまいります。その際に、御意見をいただいて修正等の必要が生じた場合には、本旨を変えない程度でございますが、座長に御相談の上、対応させていただきたいと考えてございますので、恐れ入りますが、座長のほうに御一任いただければ幸いに存じます。

また、その後、3月中にはビジョンをつくり上げて、ホームページや、区の広報紙といったところで発信をしていく予定でございます。

また、ビジョンの本編、資料編の冊子の印刷製本につきましては、年度明けの4月以降になるのですが、速やかに実施して、皆様のお手元にお届けしたいと考えてございますので、もう少しお時間をいただければと思います。

最後に、29年の11月に立ち上げました当委員会につきましては、本日で閉会とさせていただきます。長きにわたり、皆様の貴重なお時間を頂戴しましたこと、まことにありがとうございます。先ほど御説明したとおり、来年度から改めて推進会議を立ち上げて、皆様と協働でまちづくりを進めていきたいと考えてございますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

4 閉 会

○事務局 以上をもちまして第6回上野地区まちづくりビジョン策定委員会を終了いたします。御協力いただきまして、ありがとうございました。

午後7時56分 閉会